

# 福祉のしごとと訪問説明会（出前授業）

**内容** これからの社会を担う若い世代（小・中・高校生等）および家族介護や育児の経験を持つ主婦に、介護の仕事のやりがいや魅力について理解を深めていただき、将来的な人材確保や介護人材の発掘につなげることを目的に、学校や公民館等に出席の説明会、施設見学会等を実施します。

**実施日時** 令和2年9月から（令和3年2月末まで随時受付）で申込者が希望する日時

**対象者** 小・中学校、高等学校の生徒および保護者、教員、福祉委員等（公民館行事）

**会場** 申込者が用意する会場（教室等）または福祉施設（施設見学会等の場合）

**申込方法** 申込書に必要事項を記入し、希望日の3週間前までにFAXにて送信してください。

## プログラム例

### A 福祉のしごとと説明・体験

学校の教室等に講師を派遣します。



身近な「福祉」の話や福祉に取り組むことの意義、魅力について学んでいただけます。さまざまな種類がある福祉の「しごと」の内容について知識を深めていただけます。

\*内容によって、DVDプレーヤー、プロジェクター等の機器をご用意いただく場合があります。

### B 施設見学・体験

近隣の福祉施設と日程や学習内容等についての調整を行います。



介護保険施設などでの見学・体験を通じ、高齢者への配慮や仕事の大切さ、やりがいについて学んでいただけます。

※必要に応じて別途講師を派遣します。



## 出前授業について



**Q. 車いすや体験セットは、学校で準備しなければなりませんか？**

**A. 体験に必要な物は、県社協で貸出可能です。**

**Q. 遠方の学校でも、依頼できますか？**

**A. 福井県内全ての学校が対象ですので、ぜひお申込ください。**

**Q. 講師は、どういった方が来て下さいますか？**

**A. 福祉施設の現場職員が講師として対応しますので、専門的な内容や実際の体験談を聞くことができます。**

**Q. どういった授業で利用されていますか？**

**A. 小学校であれば、総合的な学習やキャリア支援教育の時間で、中学校であれば、進路指導の時間に他職種のお仕事紹介と合わせてご利用いただいています。**

## 介護のおしごと ロゴマークについて



シンボルマークには、ハート（心）・笑顔、四つ葉のクローバー、翼・ふくいの「ふ」の4つの意味を込め、「あなた自身にとっても、まち全体にとっても、介護のお仕事をすることは価値あることで、その未来に期待してほしい」という願いが、ロゴには、「前向きなイメージのもと、あなた自身の未来（人生）には、あなたの成長があり、それはまち（社会）全体を良くしていくことだと伝えたい」という思いが込められています。

## これまでに実施された学校の感想

### 小学生

- ・福井県の中でも65歳以上の人口が3人に1人ということに驚いた。そして、一人暮らしのお年寄りが増えていることや「みんなが支えあう大切さ」を学んだ。
- ・認知症の話が一番心に残った。認知症の人は同じことを何度もくりかえすこともあるけど、①おこらない。②ゆっくり話す。③できることのお手伝いをする。の3つが大切だと知った。「福祉」の「福」も「祉」も「しあわせ」という意味だとはじめて知った。
- ・施設で働く人は、介護職員だけではなく、他にもセラピストという、お年寄りのリハビリを手伝ったり、訓練をする仕事があることをはじめて知った。



### 中学生

- ・福祉の仕事によって、自分もお年よりの人もその家族の人も、幸せになれるということが分かった。そして、少子高齢化が進んでいる今、幸せな暮らしをつくる福祉の仕事は日本にとってとても重要だと思った。
- ・将来、医療関係の仕事につきたいと思っているので、このような経験をさせてもらって感謝している。印象に残った言葉は「その人らしい生活を患者さんとともに組み立てていく」という言葉。とてもすてきなことだと思うし、尊敬できる仕事だと感じた。



### 小学校の先生

- ・4年生の「総合的な学習の時間」では、「福祉」をテーマに、調査や体験を通して、自分たちの地域を「みんなにやさしい町」にするために、どんなことができるかを考え、実践していきたい。しかし、「福祉」の仕事や種類が幅広いということや、児童の知識が乏しい中で進みづらい状況があるので、「福祉」に取り組むことの意義について知り、自分たちで学習を進めていくうえでの方向付けにしたい。
- ・高齢者の体や気持ちについて知り、児童が関われること、できることを考え、今後、施設訪問等で高齢者とふれ合う体験を行いたい。

### 中学校の先生

- ・福祉・介護の仕事について、現在の状況、接し方、仕事内容、先輩の声等を分りやすく説明いただき、生徒たちは、将来の自分を考え、夢を実現させていくことのできる力が得ることができた。福祉・介護の仕事に対する考え方も深まったと思う。
- ・講師の先生の「今の学びが社会でどう役立つか」の視点でのお話は、生徒たちが将来における生き方や社会における自分の役割などについて考える上で、大きな効果をもたらす有意義な時間だった。また、グループワークを通じて、集団生活での規律や思いやりの心が垣間見られ、生徒たちの一回り成長した姿が見られた体験となった。

## これまでの実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学校訪問説明	22件 1,019名参加	29件 1,280名参加	37件 2,245名参加
職場体験	4件 155名参加	11件 178名参加	2件 29名参加